

ご注意ください

Microsoft社が提供するWindows Server 2025 およびWindows 11 version 24H2以降において、プリンタの設定画面[Windowsで保護された印刷モード (WPP)]機能が提供されます。

初期値で無効になっているこの機能を有効にすると、すでにインストール済のプリンタードライバー（ファクスドライバーを含む）がOSによって自動的に削除され、Windows標準の「IPPドライバ」というドライバが適用されますが、IPPドライバでは極めて基本的な印刷機能しか利用できず、各複合機のドライバーのようなフィニッシャ機能（パンチ・ステープル等）や特殊印刷機能（2up・両面・省トナー等）が使用できなくなりますのでご注意ください。

WPP機能を再び無効に戻しても、削除されたプリンタードライバーは自動復旧しません。

削除されたドライバーを再びインストールする必要がある場合がございます。

再度インストールする場合は、WPP機能を無効にしてからプリンタードライバーの再インストールを実施願います。

■ 対象機種

全ての複合機

■ 各社プリンタードライバー

各社メーカーのHPをご確認願います